

伊平屋村田名グムイ（池）に関する住民意向アンケートの概要

伊平屋村田名グムイ（池）の再生プロジェクトの策定にあたり、18歳以上の村民、中学生に向けたアンケートを実施しました。

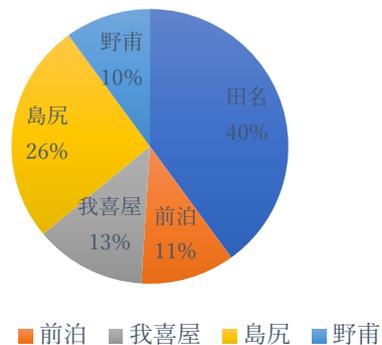
アンケート調査の概要

対象	実施期日	配布数	回収数	回収率
18歳以上の村民	令和7年2月25日～ 3月25日	961	564	58.6%
中学生	令和7年1月23日～ 2月5日	37	34	91.8%

字別アンケート概要（18歳以上）

字名	配布数	回収数	回収率	全体構成率
田名	250	224	89.6%	40%
前泊	180	61	33.8%	11%
我喜屋	250	75	30.0%	13%
島尻	200	145	72.5%	26%
野甫	81	59	72.8%	10%

アンケート回答全体構成率



《アンケート結果からみえてきたこと》

1. アンケート回収率は田名区が一番高く関心の高さがうかがえる。
2. 田名グムイ（池）を知っていた人の割合は全体で6割強であった。
3. 田名グムイを知っていた人を字別にみると、田名区が86%で一番高く次いで島尻の83%となっており、島尻区では古くから神アシャギの茅葺き材として田名グムイ（池）からヒトモトススキを採取していたことが要因と思われる。
4. 田名グムイ（池）を知っていた人を年齢別にみると50代で7割、60代から80代以上では9割近くに達するものの、10代から20代までは3割、30代から40代では5割程度と低くなっている。
5. 田名グムイ（池）の環境を良くすることについては、66%の回答者が必要と回答しており、字別でみると特に田名区と島尻区でその割合が高く、田名グムイ（池）の認知度との相関関係がうかがえる。
6. 田名グムイ（池）は今後どうなればよいかとの設問については、観光利用が一番多く、次いで子供たちが使える公園、住民が安らぐ場所となっている。
7. 田名グムイ（池）の今後について年齢別にみると、30代から40代の子育て世代では、子供たちが使える公園との回答が一番多く、その傾向は10代や中学生の回答でも同様となっている。
8. 田名グムイ（池）の環境を良くするための要望や具体的アイデアについては、湖面と浮島の再生やバードウォッチング、自然体験施設と公園機能の整備や農業利用等が挙げられる一方、過度の開発行為に懸念を示す意見もみられた。

※今後は、これらのアンケート調査結果や意見を参考に、村外有識者や村内関係者等を構成員とした協議会を設置し、田名グムイ（池）の整備計画を策定することとする。